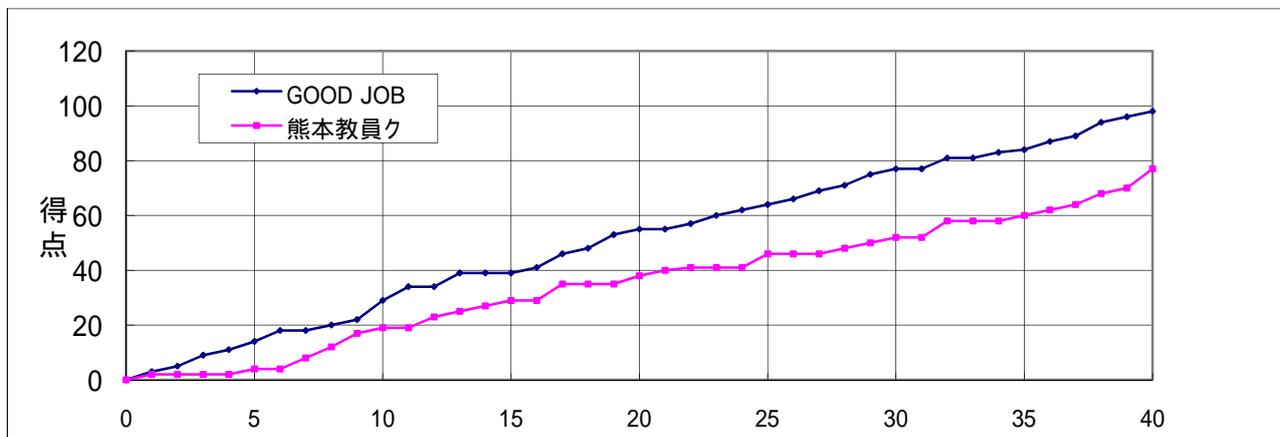


大会名	第48回男子・第40回女子 全日本教員バスケットボール選手権大会 「おいでませ！山口国体バスケットボール競技リハーサル大会」	12F1	10:00	女子準決勝														
		GOOD JOB 98 (東京都)	<table border="1"> <tr><td>29</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>26</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>22</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>25</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>		29	-	19	26	-	19	22	-	14	21	-	25	-	-
29	-	19																
26	-	19																
22	-	14																
21	-	25																
-	-	-																
期日	2010年(平成22年)8月12日(木)																	
会場	下松スポーツ公園体育館																	

主審 大谷亜紀

副審 米村悠美



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
07:28 14:04	27:25 36:28	-	-

GOOD JOB

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	越智 朋子 (C)	0	0	0	0	0	1	0
5	富中 亜貴子	0	0	0	0	0	0	0
6	* 小田桐 朋美	8	0	3	2	1	11	0
7	* 伊藤 奈々	23	5	4	0	0	5	1
8	清水 萌	16	0	6	4	2	7	0
9	* 結城 葉月	18	0	7	4	2	8	0
10	* 葛西 亜季子	15	1	5	2	3	7	0
11	* 石塚 智佳	7	1	2	0	3	4	1
12	志水 麻衣	-	-	-	-	-	-	-
13	田澤 茜	2	0	1	0	0	0	0
14	柿崎 優子	3	1	0	0	0	1	0
15	国保 美紀	5	1	0	2	0	0	0
16	今西 智津子	1	0	0	1	0	1	0
17	小野 里実	0	0	0	0	0	0	0
18	吉宇田 和泉	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	八木 陽子							
合計		98	9	28	15	11	45	2

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
03:49 17:43	39:25	-	-

熊本教員ク

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	西村 香織	-	-	-	-	-	-	-
5	* 岩下 未央	0	0	0	0	4	0	0
6	* 天川 道代 (C)	2	0	1	0	3	3	0
7	池田 絵里	2	0	1	0	0	1	0
8	* 土橋 里美	27	1	11	2	2	10	0
10	久米野 千晶	-	-	-	-	-	-	-
11	廣瀬 智絵	0	0	0	0	1	1	0
12	* 土穴 史	10	0	5	0	4	5	0
13	山下 礼	4	0	2	0	2	3	0
14	川口 由美	-	-	-	-	-	-	-
15	黒川 裕子	7	1	2	0	3	5	0
18	* 内田 貴子	25	4	6	1	2	4	0
コーチ	西村 香織							
合計		77	6	28	3	21	32	0

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

ともに前日の激戦を制して勝ち上がった東京と熊本。東京は#7の3Pで先制、#6が献身的にリバウンド、ルーズボールを頑張り、#11#9#7がドライブから得点を量産する。11-2となった4分に熊本タイムアウト。その後それまで徹底ディナイされていた熊本のエース#8が覚醒！連続11得点の獅子奮迅の活躍で8分には24-19と猛追。東京は交代した#8のミドルと#7の3Pで流れを渡さず29-19で1Q終了。2Qに入り東京は#9#6のインサイド、#7#10#11のアウトサイドとバランスの良い攻撃を展開する。熊本は#8を起点に仕掛け、#15#18の3Pと、点の取り合いとなる。55-38で前半を終わる。3Qの立ち上がり熊本#12が攻守に良い働きをみせる。2分に疲れの見える熊本の#8がベンチへ下がる間に東京#7が内外と連続ゴールし62-41と一気にスパート。#7から#9への絶妙なノールックパスに場内ため息が漏れる。4分にコートに戻った#8が一人気を吐くも流れは変わらず77-52で3Q終了。4Q東京#9の4連続ゴールで試合を決定づける。その後両チームともに交代を繰り返し、ベンチメンバーも大奮闘。東京は#14の3P#13のドライブと続き、熊本は#13のミドル#7のリバウンドショットと入れ返す。残り2分、熊本はオールコートプレスで最後までボールを追いかけるが及ばず、98-77で東京が4連覇中の千葉との決勝戦に駒を進める。

記事者	松田 省吾 (所属) 山口県バスケットボール協会
-----	--------------------------